



冬休み心温まる本を!

12月1日(金)から12月22日(金)まで、冬休みに向けての特別貸出を行います。ひとり5冊まで借りられます。返却期限は1月9日(火)始業式の日です。冬休みは家で過ごす時間が増えると思うので、ぜひ読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

11月15日(水)に読書についてのHRAを実施しました。3年生は読書会、1,2年生はビブリオバトルを行いました。図書委員の司会にご協力ありがとうございました。これを機に新たな本に出会ってくれたら嬉しいです。気になった本は冬休みに読んでみませんか?

ビブリオバトルHRA 各クラスのチャンプ本

クラス	書名	著者名	紹介者
1年1組	あっ!命の授業	ゴルゴ松本	穴井 晴太
1年2組	つかめ助産院	小川 糸	田村 萌
1年3組	のぼうの城	和田 竜	篠原 一輝
1年4組	桐島、部活やめるってよ	朝井 リョウ	林 晃平
2年1組	勇気は一瞬、後悔は一生	0号室	帆足 朋也
2年2組	あいうえおちゃん	森 絵都	須藤 春樹
2年3組	5年3組リョウタ組	石田 衣良	河野 朱里
2年4組	浮雲心霊奇譚 赤眼の理	神永 学	佐藤 朱紗



校内読書感想文コンクール♪

夏休み課題の読書感想文校内コンクールの入賞者です。各学年最優秀、優秀の2名の作品は大分県コンクールに応募しています。

【1年生】

最優秀	1年1組	松下 文香
優秀	1年3組	橋立 希亜来
優良	1年1組	伊地知 三咲子
優良	1年2組	高木 美紅
優良	1年4組	小田 奈実

【2年生】

最優秀	2年2組	鳥越 舞
優秀	2年1組	吉光 芽生
優良	2年1組	佐藤 祐生香
優良	2年2組	伊藤 花奈
優良	2年3組	原田 那々実
佳作	2年4組	篠原 龍成

【3年生】

最優秀	3年1組	寺上純可
優秀	3年2組	進英莉
優良	3年1組	久野叶登
優良	3年1組	武石実奈
優良	3年2組	河野沙季
佳作	3年3組	武石恵菜
佳作	3年4組	高倉萌

景品を
もらいに
来てね

全国読書週間に実施した『図書館クイズ』の当選者6名です。

2年3組 立川義幸さん、1年1組 穴井晴太さん、1年1組 後藤るなさん
1年1組 塩月喬貴さん、1年4組 吉良雄希さん、1年4組 長野智也さん

図書委員おすすめ本

図書委員によるオススメの本の紹介コーナーです。

図書館にある本なので、気軽に読んでみて下さい。



(KADOKAWA)



(光文社)



(新潮社)

『言の葉の庭』 新海誠著

この本は、『君の名は。』で有名な新海誠さんの作品です。2013年にアニメーション映画として公開されました。靴職人になりたい高校生の孝雄と職業年齢不詳の女性雪野が、雨の日に公園の東屋で出会って、互いに過去を振りかえる物語です。視点と時系列がバラバラで、読むのが少し難しいけど、面白いので是非読んでみて下さい。(3-1 甲斐)



『江ノ島西浦写真館』 三上延著

『ビブリア古書堂の事件手帖』の著者が描くビターであたたかな青春ミステリーで、館主の死によって閉館した写真館を、館主の孫娘である主人公が訪れるところから物語が始まります。風景の描写が素敵で、読み始めてすぐに頭の奥に風景が浮かんできます。謎解きと同時に主人公がトラウマを克服する物語で、とても感動します。(3-1 日野)

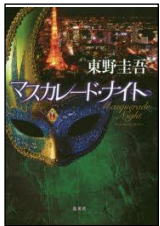
『ボトルネック』 米澤穂信著

亡くなった恋人を追悼するため、東尋坊を訪れていたぼくは、何かに誘われるように断崖から墜落したはずだった。ところが気がつくとき金沢の街にいる。不可解な思いで自宅へ戻ったぼくを迎えたのは見知らぬ「姉」。もしやここでは、ぼくは「生まれなかった」人間なのか。青春ミステリー。(2-3 秋好)



おすすめの新着図書

『マスクレード・ナイト』 東野圭吾著



(集英社)

若い女性が殺害された不可解な事件。警視庁に届いた1通の密告状。犯人は、コルテシア東京のカウントダウン・パーティに姿を現すという。あのホテルウーマンと刑事のコンビが、再び活躍する、シリーズ第3弾。

ノーベル文学賞受賞

カズオ・イシグロ作品

『遠い山なみの光』 小野寺健記

戦後すぐの長崎で、淡くかすかな光を求めて生きる人々の姿を端正に描いたデビュー作。

『日の名残り』 土屋政雄記

執事のあるべき姿を求め続けた男の生き方を通して、伝統的な英国を情感豊かに描く。ブッカー賞受賞作。

『わたしを離さないで』 土屋政雄記

「提供者」と呼ばれる人々の世話をする、介護人キャシー。施設での奇妙な日々を語る彼女の回想は、残酷な真実を明かしていく――。

花言葉 知ってますか？

シクラメン

「内気 はにかみ」

恥ずかしそうにうつむいて咲く姿から、この花言葉が生まれた。



『花ことば』(池田書店)より

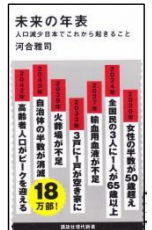
『中野京子と読み解く運命の絵』 中野京子著



(文藝春秋)

とめられぬ恋、終わらぬ戦い、狂気の先には! ? 画家の人生を変えた一枚、運命の瞬間を留めた名画一。英雄の葛藤、恍惚のとき、流転の始まり…。描いた者、観る者の心を揺さぶるドラマに迫る!

『未来の年表 人口減少日本でこれからおきること』 河合雅司著



(講談社)

人口減少問題は、確実に日本国民1人ひとりの暮らしが蝕まれていく「静かなる有事」。人口減少により今後どのような問題が起こるかを予測した「人口減少カレンダー」と、必要な対策として「日本を救う10の処方箋」を提言。

映画を読み、図書館へ



『ナラタージュ』 島本理生著 (角川書店)

2017年10月 映画化!

大学2年生の春。泉のもとに、高校の演劇部顧問の葉山から後輩の卒業公演に参加してくれないかと電話がくる。高校時代、孤独な泉に居場所を与え、救ってくれた葉山…想いを胸にしまっていた泉だったが、再会により気持ちが募っていく。2人の想いが重なりかけたとき、ある事件が起きる――。



別離

ちよつと一息

詩の世界へ

涼しさが冷氣に変わる
ほんの一月前なのに
もう遠い日のような
あの夏の日の思い出：
二人同じ刻を待ち
二人同じ夢を見た
目覚めた時にこの幸福が
壊れていたらと思うと眠れず
二人で見えていた朝の海
尽きない想いを語ったあの日
ある日突然
まるで潮が引くように
私の側から去った人
どうして…何故？
砂に聞いても分からない
貝に聞いても答えてくれぬ
星の数ほど恋があり
星の数ほど愛もある
私も同じ流れの星か
遠くの街のその先の
名前も知らない静かな海に
誰かこの流星を
いつかそつと流してよ

『季節の中で想いのままに』

詩夢追人(文芸社)